

## 議事録一覧

平成15年度低濃度PCB汚染物対策検討委員会（第2回）

### 議事次第

1. 日時 : 平成16年 2月17日（火） 13:30から16:30まで

2. 場所 : 虎ノ門パストラル 本館8階 けやきの間

3. 出席委員 : 永田 勝也（委員長）、嵐 一夫、酒井 伸一、崎田 裕子、

高橋 秀夫、竹内 憲司、宮崎 章（五十音順、敬称略）

### 4. 議事

#### 前回議事録確認

- (1) (社)日本電機工業会「変圧器等への微量PCBの混入可能性に関する調査結果について」に関して第1回委員会における質問に対する回答
- (2) 原因究明ワーキンググループ報告
- (3) 測定法ワーキンググループの設置について
- (4) PCBが染み込んだ汚泥の判定基準の考え方について
- (5) その他

### 5. 議事概要

事務局より前回議事録及び資料1に基づき第1回委員会で議論された整理事項の確認が行われた。

#### 議題(1)について

(社)日本電機工業会より、資料2に基づき、第1回委員会報告に対する追加調査結果が説明された。なおこの結果について質疑応答があり、委員より報告書データについて確度の高い条件での整理（不含証明あるデータでの整理、油交換記録ありのデータでの整理）、再生油使用機器判別の特定可・否の有意差調査等の要請があった。

#### 議題(2)について

事務局より、資料3-1に基づき、委員長が委員会の下にワーキンググループを設置し、委員及び専門委員より構成されることが報告された。又資料3-2に基づき原因究明ワーキンググループが設置され、その主査を宮崎委員、副主査を酒井委員が就任されその他の委員名簿についても紹介された。

更に資料3-3に基づいて、2月9日に第1回原因究明ワーキンググループが開催されたが

宮崎主査よりそのグループで決定された調査事項等について報告があり、詳細については事務局より、資料 3-4、3-5 に基づいて説明があった。なお原因究明ワーキンググループが行う主な調査は、新油、再生油の定義の明確化、再生油メーカー等に対して再生油在庫調査及び不含証明に関する調査、1989 年以前の再生油使用年代について油メーカー、機器メーカー等調査である。本件について質疑応答があり、委員長よりワーキンググループでそのアンケート内容等について早急に見直し、そのアンケートを実施し 3 月末日までに回答頂くよう指示があった。

#### 議題（3）について

事務局より資料 4 に基づいて森田委員を委員長とする測定ワーキンググループの設置案が説明され、委員会です承された。

#### 議題（4）について

環境省より資料 5 に基づいて説明があった。各委員からは考え方の整理が必要、根拠となった数値に対する多くの情報提供が必要等の意見が出された。

#### 議題（5）について

環境省及び経産省より資料 6-1 に基づいて現在までにユーザーに対して実施した情報提供事項について説明があった。

又経産省非鉄金属課より資料 6-2 に基づいて OF ケーブル設備からの微量 PCB 検出に関する報告があった。

#### 配布資料

##### 前回議事録要旨

- 資料 1 : 検討課題の整理事項
- 資料 2 : (社)日本電機工業会「調査結果への質問事項回答」
- 資料 3 - 1 : ワーキンググループの運営について
- 資料 3 - 2 : 原因究明ワーキンググループ名簿
- 資料 3 - 3 : 第1回原因究明ワーキンググループ議事要旨
- 資料 3 - 4 : 絶縁油とは ( (社)潤滑油協会作成 )
- 資料 3 - 5 : 低濃度 PCB 原因究明調査項目
- 資料 4 : 測定法ワーキンググループの設置について (案)
- 資料 5 : PCB が染み込んだ汚泥の判定基準の考え方について
- 資料 6 - 1 : ユーザーに対する情報提供等
- 資料 6 - 2 : OF ケーブル設備からの微量 PCB 検出について

(以上)